

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所

東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出下さい。

IRカレンダー



日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413



当社ホームページのご案内

<https://www.niv.co.jp/>

日鍛バルブ

検索

当社の企業情報をはじめ製品情報や、株主・投資家向けのIR情報など、様々な会社情報を掲載しております。
是非ご覧下さい。



トップページ

IRページ



NITTAN VALVE REPORT

第99期 報告書

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

INDEX

- 01 トップインタビュー
- 07 セグメントの概況
- 09 連結財務情報
- 10 会社・株式情報



日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

「CHALLENGE・CREATION・SPEED (挑戦・創造・スピード)」をスローガンに 掲げ、持続的な企業価値向上を目指します。

代表取締役社長 **金原 利道**

Q 当社の概況についてお聞かせ下さい。

A 当社グループが最も影響を受ける自動車業界の市場におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により生産・販売が一時的に大きく落ち込み、その後も半導体不足の影響を受けるなど厳しい状況となりました。

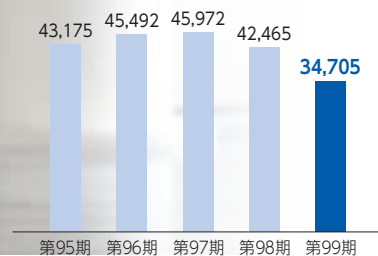
このような状況下、当期の業績は、売上高が前年度比18.3%減の347億5百万円、営業利益が前年度比98.6%減の18百万円、経常利益が前年度比76.6%減の3億75百万円となりました。

小型エンジンバルブ事業において中国新子会社の量産開始等の増収要因はあったものの、全ての事業において得意先の生産停止・減産に伴う受注減少等により大幅な減収となりました。この影響を受け損益面は、固定費の圧迫

連結財務ハイライト

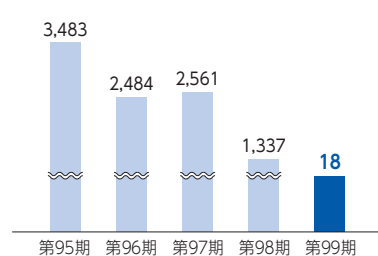
■売上高

(単位：百万円)



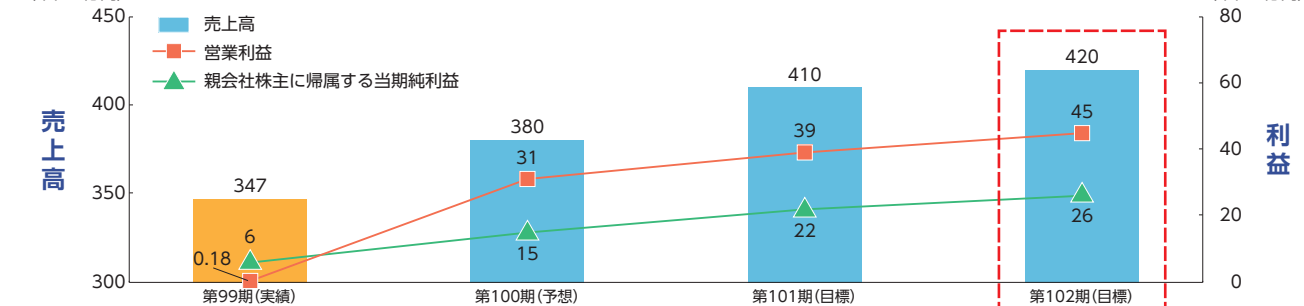
■営業利益

(単位：百万円)



■中期経営計画目標指標

(単位：億円)



や為替換算の影響等により大幅な減益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、固定資産や投資有価証券の売却に伴う特別利益計上額の増加および法人税等の計上額の減少等により、前年度比55.3%増の6億70百万円となりました。

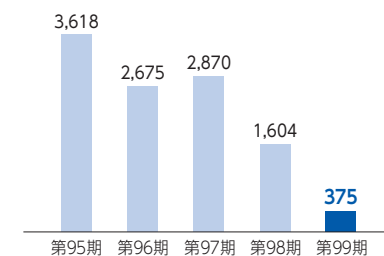
Q 中期経営計画について概要をお聞かせ下さい。

A 当社は、経営環境の変化に対応すべく3ヶ年を期間とする中期経営計画を毎年改定するローリング方式を採用しており、新たな中期経営計画として第102期の売上高420億円、営業利益45億円、親会社株主に帰属する当期純利益26億円、ROE8%以上という数値目標を掲げております。

引き続きコロナ禍のほか半導体不足による市場低迷と需要の変動が懸念されるものの、徐々に回復傾向に向かうものと見込んでおります。また、コロナの収束に関しては予断を許さないものの、ワクチン接種が進むのは確実で、経済・社会の回復が期待できるものと予測しております。このような状況下、国内事業においては、設備の増強や効率化だけでなく、これまで注力してきた人材育成や組織変革の成果が見込まれ、海外事業においては、中国における事業拡大やインド子会社をはじめとする各海外子会社の収益力向上を図ることで、上記中期経営計画に掲げる数値目標の達成を目指してまいります。

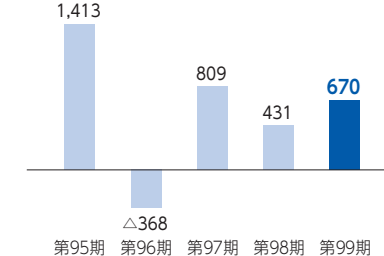
■経常利益

(単位：百万円)



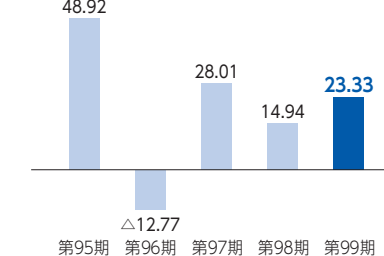
■親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



■1株当たり当期純利益

(単位：円)



Q NITTANチャレンジ10についてお聞かせ下さい。

A 当社を取り巻く事業環境ですが、各国政府が環境規制強化やカーボンニュートラルへの取り組みを次々と表明してきておりますが、インフラの整備などを含め、EVが広く普及されるまでは、引き続きエンジンの進化が求められると考えます。しかしながら、同時に電動化の流れは、脱炭素社会の実現に向けて、ますます加速していくことを予感させます。

「100年に一度の大変革期」といわれる中で、電動化やEV化が進んでも、当社のブランドを維持、発展させることができるよう、2019年度に「NITTANチャレンジ10」(以下、「NC10」という。)と銘打ち、中長期ビジョンを掲げ、電動化・EV化の潮目を2025年から2030年と捉えて、SDGs指向の新商品開発の推進を決めました。

NC10の目指すところは、2030年度で連結売上高1,000億円以上、営業利益額100億円以上、そして営業利益率10%以上を達成することです。

■2030年度に目指す目標指標

売上高	営業利益額	営業利益率
1,000億円	100億円	10%



Q 今後の目指す姿についてお聞かせ下さい。

A NC10の体系と目指す姿は、3つの柱で支えていくイメージとなります(左図参照)。ひとつは現在主力事業である小型エンジンバルブ領域における進化と付加価値製品の開発です。次にそれ以外の歯車、船用、PBWをはじめとする既存事業の製品をイノベーションすることです。そして、電動化やEV化の領域でxEV部品の開発に傾注することです。それぞれの柱は、同じ太さと高さではありませんが、これらが当社グループの将来を支えていく大黒柱になるものと信じて、進めてまいります。

Q 今後の挑戦領域についてお聞かせ下さい。

A NC10は、ふたつのVISIONを成し遂げることで実現するものと考えております。

まず、ひとつ目のVISIONは、現在の既存事業を進化させて付加価値向上でニーズに寄与するものです(VISION I)。次にふたつ目のVISIONは、今後の電動化やEV化の流れとSDGs指向の新事業や新商品化の開発と実現となります

(VISION II)。
VISION Iが挑む領域は、既存市場と新技術に関わるゾーン(下図①)と既存事業が新市場に入り込むゾーン(下図②)の製品群を実現することです。一方、VISION IIは、新市場と新技術のゾーン(下図③)で創造する新商品の開発となります。



2022年4月1日に商号を変更します



“日鍛バルブ”から、“NITTAN”へ



VISION

「伝統と歴史を守りながらも、果敢に新境地に挑み、より存在価値を磨いていく」

MISSION

「既存事業の付加価値追求」と「新規事業化や商品化によるSDGs (持続可能な開発目標) への貢献」

Q 商号変更の背景についてお聞かせください。

A 当社は1948年(昭和23年)の創業以来、前身である日本鍛工時代から培ってきた鍛造技術をコアとして、エンジンバルブの専門メーカーとして国内外の多くのお客様のお引き立てをいただいで発展してまいりました。現在では、エンジンバルブのほかに精密鍛造歯車や油圧パーキング

ブレーキ部品等の事業も成長させています。更に、秦野名水を活かしたサラダ野菜や食用花のLED光栽培にも挑戦しています。海外におきましても9か国に子会社・関連会社を有する企業に成長いたしました。しかしながら、予想以上の速さで電動化やEV化の流れ

が加速していることは前述のとおりとなります。商号を刷新することで、NC10の意義とそのビジョン・ミッションを共有し、具体的戦術の展開をよりパワフルに推進できるも

のと確信しており、ステークホルダーの皆様への積極姿勢をお示ししたいと考えました。

Q 新商号に込める想いをお聞かせください。

A 新商号の株式会社NITTANは、「日鍛」という知名度を活かしつつも、「バルブ」の表記を外すことで、中長期的な垣根のない無限の事業領域拡大の可能性を視野に入れており、将来性を感じさせる商号であるとともに、表記をアルファベットとすることで中長期的なグローバルでの事業領域拡大を表現しております。

「変わらぬお客様主義」と「挑戦して進化し続ける」を両立する普遍的な名称であるとの自負を込めております。刷

新した「NITTAN」に、お客様からご期待・ご注目いただけるよう、付加価値創出に向け、全社を挙げて力強く取り組んでまいります。

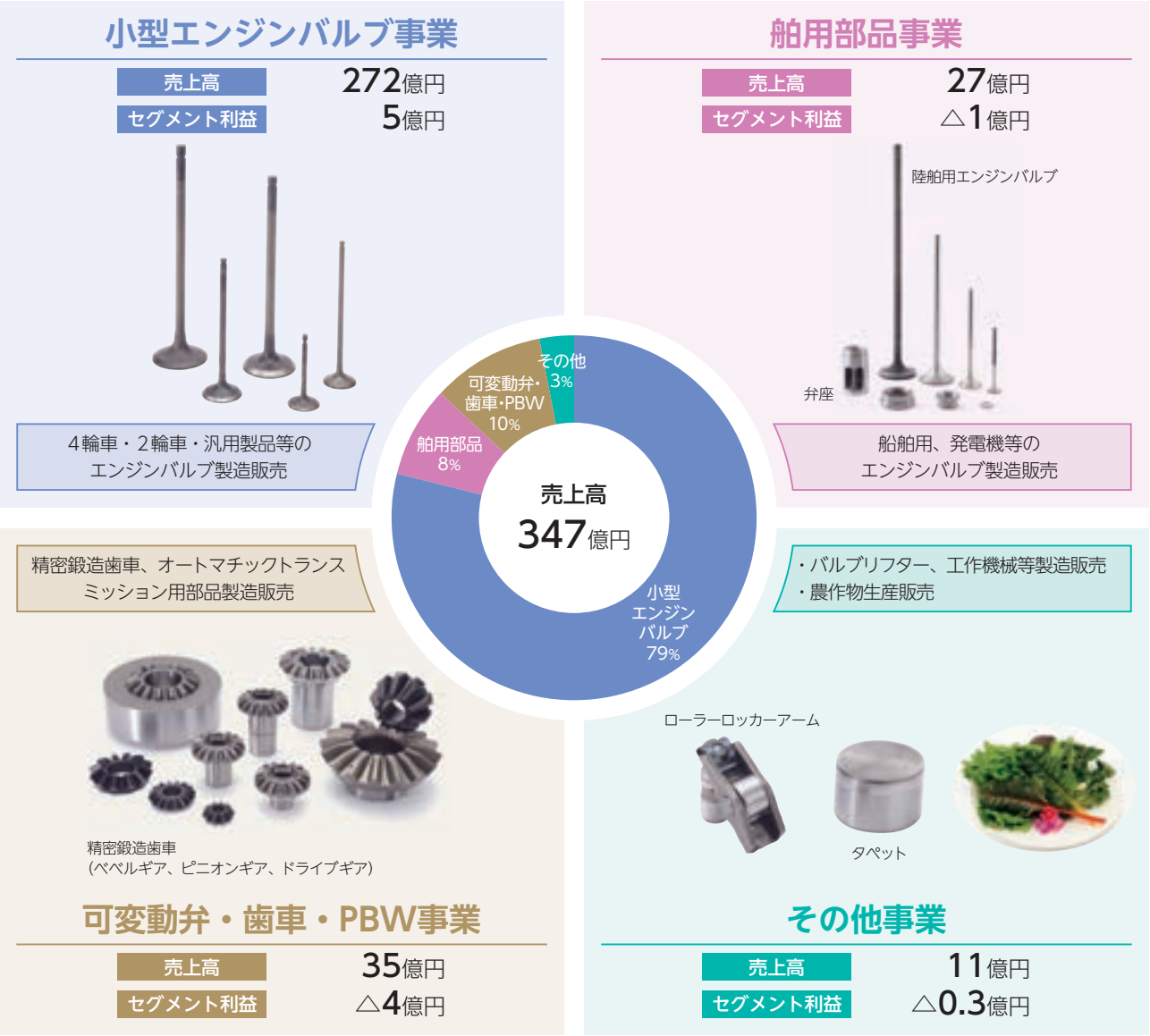
Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 今後、企業が存続、発展していくには、今まで以上に厳しく難しい課題が想定されますが、法令の遵守をはじめとしたコンプライアンスは元より、災害の未然防止に努め安全な職場づくりを進めてまいります。また、CO₂の削減やエコ要素を取り入れた開発によって環境保全活動を推進し、CSR基盤を鍛えてまいります。そして、このように、当社グループは「歴史と伝統に鍛えられた技」と「新たな挑戦と創造で編み出した技」により、豊かな価値を提供し続けてまいります。

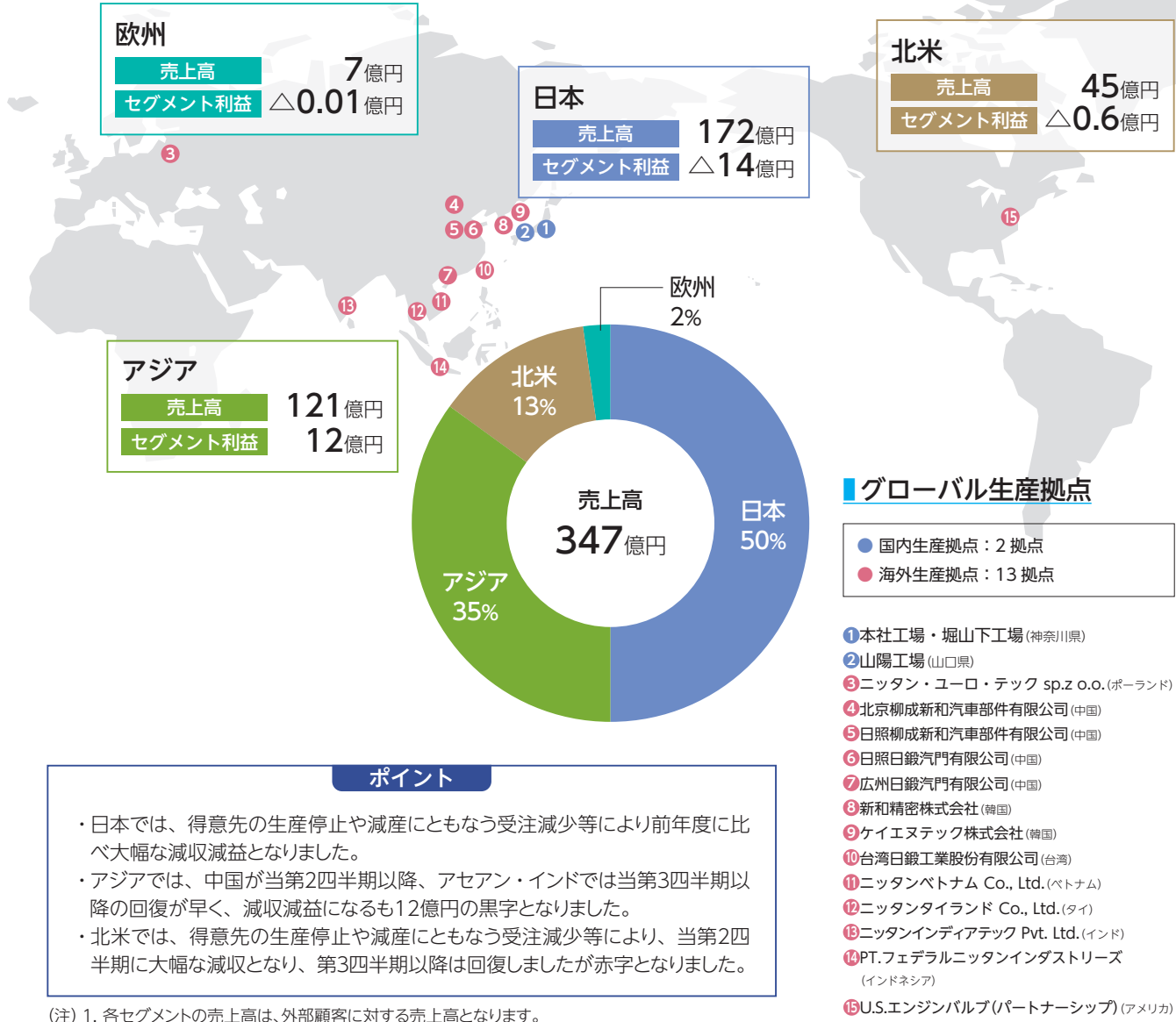
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

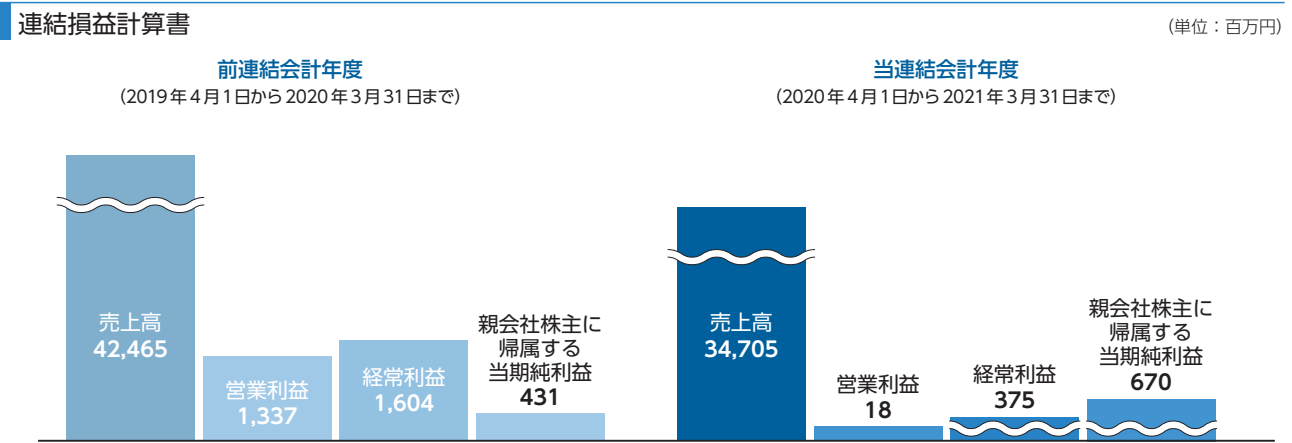
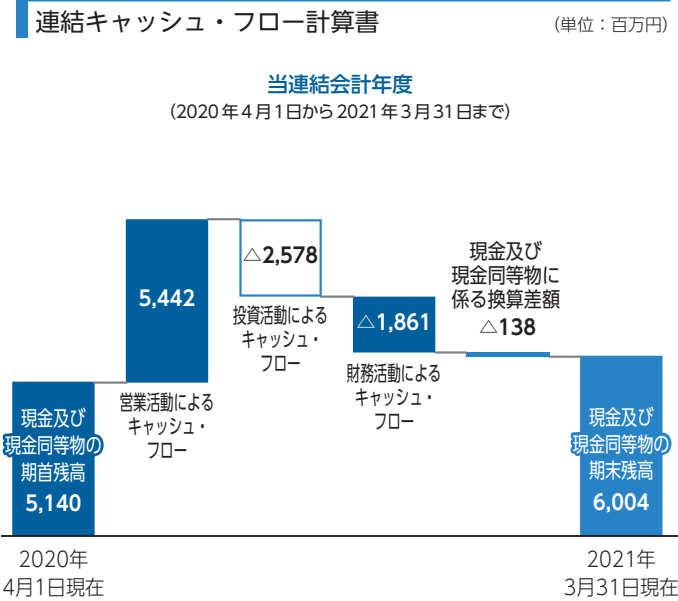
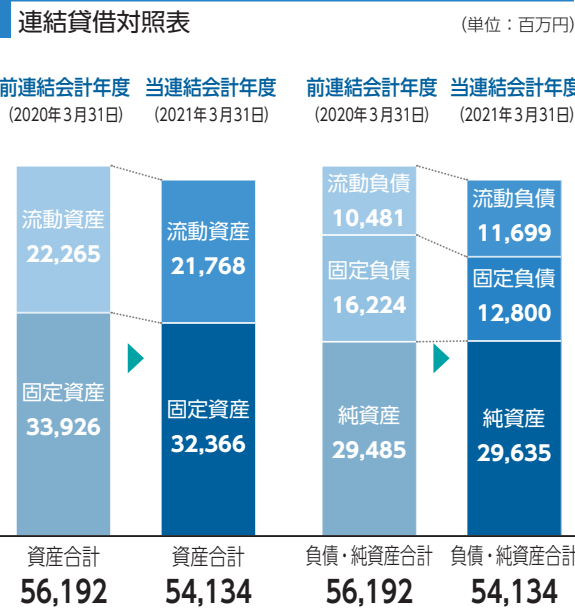


事業別セグメントの概況



地域別セグメントの概況





会社概要

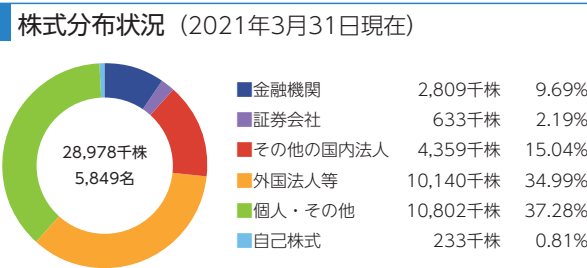
商号	日鍛バルブ株式会社
本社所在地	本社工場：神奈川県秦野市曾屋518番地 東京本社：東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2F
設立	1948年（昭和23年）11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	連結 2,511名（2021年3月31日現在） 単体 718名（2021年3月31日現在）

役員一覧（2021年6月25日現在）

代表取締役社長	金原利道
専務取締役	李太煥
常務取締役執行役員	大野浩
取締役執行役員	井上文雄
取締役執行役員	桧村雅人
取締役執行役員	安藤輝明
取締役	鈴木隆司
取締役執行役員	栗原伸元
取締役執行役員	高橋幸一
取締役（社外）	石垣和男
取締役（社外）	熊平美香
取締役（社外）	富田祐史
取締役（社外）	徳永健二郎
監査役（常勤）	菊地浩二
監査役	小関誠也
監査役（社外）	山田章雄
監査役（社外）	工藤光和
執行役員	菊川春房
執行役員	田中靖彦
執行役員	村山誠治
執行役員	遠藤浩光

株式の状況（2021年3月31日現在）

発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式総数	28,978,860株
株主数	5,849名



大株主 上位10名（2021年3月31日現在）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イトンコーポレーション	6,217	21.63
KSD－KB	1,376	4.79
株式会社横浜銀行	1,302	4.53
本田技研工業株式会社	1,233	4.29
日本パーカライジング株式会社	1,098	3.82
PHILLIP SECURITIES CLIENTS(RETAIL)	1,057	3.68
個人株主	809	2.82
株式会社シンニッタン	517	1.80
日鍛バルブ従業員持株会	489	1.70
明治安田生命保険相互会社	448	1.56

(注) 持株比率は、自己株式（233,743株）を控除して計算しております。